

道路関係四公団民営化の基本的枠組みについて (回答様式)

～ 今後検討すべき課題等 ～

地方公共団体名	仙台市
1 新たな組織と役割	
(1)機構と会社の設立	
意見： 委員会意見に基本的に合意	
(2)道路資産の帰属と債務返済の考え方	
支持する案がある (案-1-B) <input type="checkbox"/> 支持できない案がある (案-1-) <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/>	
上記の理由 将来は無料開放であり、いつでもだれでも利用できるものでなくてはならないと考えている。	
その他意見	
(3)地域分割	
支持する案がある (案-2-C) <input type="checkbox"/> 支持できない案がある (案-2-) <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/>	
上記の理由 東北という地域性から交通量のある地域との連携が必要である。	
その他意見	
2 新規建設	
(1)建設にあたっての評価	
意見： 整備にあつたての評価基準は厳格にすることは当然のことと考えております。また、構造、規格についても地域にあつたものの整備が必要であると考えております。	
(2)新会社による建設の範囲とその仕組み	
支持する案がある (案-3-B) <input type="checkbox"/> 支持できない案がある (案-3-) <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/>	
上記の理由 既存債務の返済は必要であるが、新規建設も必要であることから、整備路線を十分検討し、必要性を十分かんがみ建設をすべきと考える。	
その他意見	

3 料金の性格と水準

(1)料金の性格と民間企業としての収益確保

支持する案がある(案-4-B) 支持できない案がある(案-4-) どちらとも言えない
上記の理由

コスト縮減やSA・PA事業の見直しなどによる収益を基本とすべきであり、課税対象とすべきではないと考えている。

その他意見

(2)料金の水準

意見：

ETCの全面的な活用などで管理費を削減し、弾力的で多様な料金体系を導入し高速道路の有効活用を図るべきと考える。

4 承継する資産・債務の内容・評価

(1)承継資産・債務の考え方

意見

基本的に委員会意見に合意

その他の意見 (道路関係四公団の民営化、基本的枠組み等について自由にご記入下さい)

高速国道の評価手法については、地域性や採算性を総合的・客観的に評価し、新会社による整備と新直轄方式の整備の振り分けを図る必要がある。

また、今後の建設に当たっては、委員会案では新規建設が困難であるので、新会社が資金を自己調達できる枠組みを作り、必要な道路を建設するべきであると考えている。